みやぎハイスクール通信

第６号
発行日：令和６年１０月２１日
発行者：宮城県教育庁高校教育課
https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

１０月号の目次

１　マナーアップの取組紹介
（１）富谷高校　　（２）築館高校
２　特色ある学校行事等の紹介
（１）白石高校七ヶ宿校　（２）蔵王高校　（３）伊具高校　（４）名取高校
（５）名取北高校　（６）仙台二華高校　（７）泉高校　（８）泉館山高校
（９）松島高校　（１０）古川黎明高校　（１１）岩出山高校
（１２）中新田高校　（１３）加美農業高校　（１４）鹿島台商業高校
（１５）登米高校　（１６）迫桜高校　（１７）石巻西高校
（１８）石巻北高校　（１９）気仙沼高校　（２０）本吉響高校
（２１）田尻さくら高校　（２２）大河原産業高校
３　生徒の活躍（活動の成果報告等）
（１）白石工業高校　（２）工業高校　（３）古川高校
（４）小牛田農林高校　（５）石巻工業高校　（６）角田高校
４　入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）
（１）柴田高校　（２）仙台第三高校　（３）宮城野高校　（４）水産高校
（５）第二工業高校　（６）美田園高校

1　マナーアップの取組紹介

（1）富谷高校

〈本校のマナーアップ活動紹介〉

本校では、生徒会を中心にさまざまなマナーアップ活動に取り組んでいます。本校前の道路は自動車の往来が多く、また、生徒の約８割が自転車通学をしていることから、特に交通安全運動に重点を置いて活動を行っています。

以下に主な取組を紹介します。

【写真１】自転車通行時・注意箇所パネル

～主な活動内容～

①　自転車通行時・注意箇所のパネル掲示

生徒会執行部が中心となり、昇降口や廊下に自転車事故が起きやすい危険箇所を示したパネルを掲示し、生徒に注意を促しています。【写真１】

②　「自転車事故ゼロ」掲示板の設置

自転車事故ゼロの連続日数を表示する掲示板を昇降口に設置し、現状を全校生徒に知らせることで、自転車事故防止に関する意識を高めています。【写真２】

【写真２】自転車事故ゼロ連続日数掲示板

③　交通安全呼びかけ活動

生活委員の生徒と教員が協力し、３か所ある校門付近で月に一度、登校中の生徒に対して自転車運転のマナーを中心とした交通安全の重要性を呼びかけています。【写真３】

【写真３】校門付近での交通安全呼びかけ活動

④　アルカス活動

大和警察署と「ＴＭＹアルカス」生徒会執行部が合同で、自転車盗難や自転車損壊行為等の被害を防止することを目的とした自転車駐輪場の点検を実施しています。【写真４・５】

【写真４】本校生徒会によるアルカス活動

（ツーロック推奨キャンペーン）

これらの一連の取組により、生徒の交通安全に対する意識が向上し、自転車事故防止に貢献していると思われます。今後は、ヘルメット着用の呼びかけを強化し、生徒一人ひとりが安全意識を高めていけるよう、働きかけていきます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://tomiya-h.myswan.ed.jp/

【写真５】本校生徒会によるアルカス活動

（ツーロック推奨キャンペーン）

（２）築館高校

〈自転車マナーアップ運動＆朝の一声運動〉

築館高校では月に２回、交通安全委員が登校時に校門付近で自転車の安全運転を呼びかける活動を続けています。９月には築館警察署の方々にも参加いただき、自転車通学者に対しマナーアップの声がけに御協力いただきました。交通安全委員は、パトカーの拡声器をお借りして運転の注意喚起と駐輪のマナーアップを呼びかけました。

また、５月と１０月には朝の一声運動として、PTA・生徒会執行部を中心に、爽やかな挨拶を呼びかける活動を行っています。以前から築高は「元気で挨拶が響く学校」というイメージが強く、外部の方々からもお褒めいただくことが多い学校でしたが、新型コロナの影響により、かつての姿を失ったように思われる時期もありました。しかし、応援練習も復活した現在は、生徒会や応援団を中心に、全校生徒に挨拶の励行を呼びかけ、朝の一声運動と連動して全校生徒のマナーアップに取り組んでいます。

交通安全運動の様子（安全運転とマナーアップの呼びかけ）

朝の挨拶運動（生徒会だけでなく PTA 役員の皆様や野球部員も有志で参加）

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://tukiko.myswan.ed.jp

２　特色ある学校行事等の紹介

（１）白石高校七ヶ宿校

〈わらじで歩こう七ヶ宿に全校生徒が参加しました〉

七ヶ宿校は、昼間定時制の高校で全校生徒３１名がのびのびと学習活動に取り組んでいます。３修制を取り入れており、定時制ながら３年間で卒業できる珍しい学校です。七ヶ宿の豊かな自然とふれあったり、町の行事にも参加したり地域と関わる取組をふんだんに取り入れているのが特長です。

８月２５日（日）に行われた「わらじで歩こう七ヶ宿」には、２８人の生徒が歩行者に、３人の生徒が運営ボランティアにエントリーしました。七ヶ宿スキー場をスタートし、町役場まで約１１km を歩くものです。わらじを初めて履いた生徒に他の参加者の方が履き方を教えてくださったり、保護者からけがを防ぐコツを教わったりと、スタート前から人の温かさを感じました。道中は、そばの花を見たり、川のせせらぎに涼を感じたり、森の中で木の葉を踏みしめたりと、シーンがどんどん変わるので飽きません。休憩スポットが数か所用意されており、麦茶やキュウリの漬物、ヤマメの塩焼きなどをいただいて、町民からの温かい応援や励ましに心も体も力が湧いてきた生徒たち。運営ボランティアの生徒がいる休憩所で勇気をもらって歩き続けたところ、いつしかゴールに到着していました。歩ききったときの達成感はひとしおで、どの生徒からも充実した笑顔がこぼれていました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://sitika.myswan.ed.jp/

（2）蔵王高校

〈シン・蔵王体験ツアー〉

本校では、蔵王町と連携した地域探究・魅力発信事業である「クラブ・ジオパーク活動」を全校生徒で行っています。中でも蔵王の魅力を知り、発信する活動を行うジオツアー実践学習では、生徒たち自身でツアーを企画・運営します。９月にはその集大成である「シン・蔵王体験ツアー～見て！感じて！体験して！蔵王の宝を探しに行こう！～」を実施しました。

ツアー当日は悪天候の中ではありましたが、多くの方に参加していただきました。ツアーを担当した生徒たちもこれまで準備してきた成果を存分に発揮できた一方で、反省点も多く挙げられ、まだまだ改善の余地があるといった様子でした。また、ツアーに参加していただいた方々からは、「楽しかった」「また参加したい」など温かい言葉をかけていただきました。

ツアーパンフレット（抜粋）

ツアーの様子

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://zao-h.myswan.ed.jp /

（３）伊具高校

〈体育祭〉

６月２７日（木）、６月２８日（金）で体育祭を実施しました。今年度は熱中症対策の一環として、昨年度まで２日間で実施していたところを１日半に縮小した形で行いました。各種目において熱戦が繰り広げられ、優勝したクラスと教員チームがエキシビションマッチをおこなうなど大変盛り上がりを見せました。大きな怪我や体調不良者もなく、無事に２日間の日程を終えることができました。

〈一日体験入学〉

７月２６日（金）に一日体験入学を実施しました。本校の総合学科という強みを活かし、機械、情報、福祉、農学の４つの系列を体験できる内容で、参加した中学生からも好評の声をいただきました。体験入学の最後には部活動見学を実施し、中学生は本校の部活動にも触れることができました。

〈齋理幻夜〉

８月３日（土）に丸森町の齋理屋敷で齋理幻夜が実施され、本校からも情報系列や吹奏楽部の生徒が参加をしました。情報系列の生徒は県内の情報番組に出演してのＰＲや当日の司会進行、吹奏楽部は演奏を披露するなどイベントを盛り上げてくれました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://igu.myswan.ed.jp /

（４）名取高校

〈パーソナルカラー講座〉

９月 12 日（木）に家政科２年生 36 名を対象として、「パーソナルカラー講座」が行われました。ＮＰＯ法人日本パーソナルカラー協会本部講師、佐藤博美先生をお招きするのは２年目となりますが、昨年同様、色の種類や構成、自分に似合う色、見せたい自分を演出する方法など、興味深い内容で、参加した生徒達も熱心に聴講していました。

パーソナルカラー診断では、代表生徒の診断の様子を三面鏡を通して全員で見届け、似合う色がその人の顔色をパッと明るくさせる効果を目の当たりにし、今後の被服選択やメイクアップの際の色選びの参考になったようです。また、自分自身や暮らしの様々なシーンを効果的に演出できる色の魅力について、再確認する時間となりました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://natori-h.myswan.ed.jp//

（５）名取北高校

〈地域に愛され　地域に育てられる名取北高校〉

令和６年度から名取市内で活動する大学や小中学校、社会教育施設、社会福祉法人、公益財団法人などの協力を得て「名北アカデミーサポート委員会」を立ち上げ、地域と連携した総合的な探究の時間を展開しています。

１学年では名北アカデミーサポート委員会による「地域探究講座」や「フィールドワーク」で興味の幅を広げ、探究のタネを集めます。１学年の後半に探究テーマを設定して、２学年で探究サイクルを何度も繰り返し、３学年で成果発表を行います。

地域の方との繋がりが、自ら設定した探究テーマを深掘りしていくことや、高校卒業後の人生の一助になると考えています。

【地域探究講座】

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://www.natorikita.myswan.ed.jp/

（６）仙台二華高校

〈“世界の水問題の解決”に挑む〉

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の１つが「グローバルスタディ課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、２年間（科目の選択によっては３年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校１年次生対象の北上川フィールドワークを９月２６日（木）、２７日（金）の２日間で実施しました。岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱える様々な課題などについて、実際に現地に赴いて学びます。１日目は、７つのＨＲ(ホームルーム)が３つに分かれ、（１）伊豆沼サンクチュアリセンター、（２）一関の北上川学習交流館と胆沢平野、（３）東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地をそれぞれ訪れ、研修を行いました。２日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で植樹活動を行いました。この鉱山はかつて東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和処理施設が設置されていますが、その維持費は年間５億円にも及んでいます。鉱山にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないよう山の保水力を高めるための緑化活動がこの植樹です。１０年以上継続しているため、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが、全員が充実し環境保全の規模としたら小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、本校ではこれからもこの活動を続けていく予定です。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://nika.myswan.ed.jp /

（７）泉高校

〈体育祭〉

９月２６日（木）、２７日（金）の２日間にわたり、本校の３大行事のうちの最後の行事である体育祭が開催されました。生徒たちは２日間にわたり、クラス対抗で、サッカー、バレーボール、ドッチボールの球技種目、今回から実施された縦割り対抗「綱引き」と「リレー」競技に分かれて、屋内外で熱戦が繰り広げられました。また、エキシビションとして、教員と生徒代表の綱引きを行うなど学校全体が盛り上がりました。

クラスごとに作成したカラフルで様々なデザインのユニフォームを着て、クラスが一致団結して試合に臨むことができました。また、自分たちの試合のない時には、クラスメイトを一生懸命に応援するなど、クラスの絆がさらに深まったように感じます。勝ち負けにかかわらず、試合後のすべて出し切った清々しさがとても印象的でした。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://izumihigh.myswan.ed.jp

（８）泉館山高校

〈私たちの Twinkle Memories〉

１２月上旬から２週間、校内で開催されるイルミネーションは、泉館山高校の冬の風物詩になっています。

このイベントは、毎年１年生のみで構成された実行委員会で企画、運営されており、オリジナリティと発想力に富んだライトアップが魅力です。生徒昇降口前のロータリーや中庭、渡り廊下がカラフルな電飾で彩られ、生徒が過ごし慣れた校舎が、普段とは違った賑やかな雰囲気に包まれます。点灯式では吹奏楽部による演奏、消灯式ではチアリーダーによるパフォーマンスが行われ、点灯期間の最初から最後まで全校生徒が盛り上がります。昨年度の特設企画では、専用のカードに願い事を書き、校舎内の階段に自由に飾って楽しむ企画を行いました。

冬のイルミネーションは、友達や大切な人と写真を撮り、思い出を残すことができる、館高生にとって欠かせない行事となっています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://izumit-h.myswan.ed.jp/

（９）松島高校

〈社会人模擬面接を実施しました。〉

９月４日（水）～10 日（火）、本校を会場に「社会人・管理職模擬面接」が実施されました。これは、９月中に行われます就職試験に応募した生徒を対象に、毎年実施しているものです。今年度は面接官として、本校職員のほか、利府松島商工会青年部様、千賀の浦倫理法人会様のほか、地元企業の人事担当者様にも御協力いただきました。

本番さながらの面接試験に緊張し、うまく話せなくなる生徒、逆に思うように話せて、自信を深める生徒と様々でしたが、それぞれ面接試験後に助言をいただき、来るべき９月 16 日（月）以降の就職試験本番に向けて、気持ちを高めている様子でした。全体を通して、面接官の皆様からは、「挨拶ができていて非常に良い」という評価をいただいた一方、「もう少し明るさ、元気さが欲しい」「志望動機をもっと具体的に話すとよい」という御意見をいただきました。面接に御協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://matsushima-h.myswan.ed.jp/

（１０）古川黎明高校

〈令和６年度　中・高合同体育祭〉

古川黎明の三大行事（球技大会・黎明祭(文化祭)・体育祭）のうち、併設中学校(古川黎明中)と合同でおこなう体育的行事が体育祭です。毎年、気候が和らぐ９月末に開催しています。中学１年から高校３年まで６学年を縦割りにチーム編成し、高３の実行委員会が全体リーダー、中３の実行委員会がミドルリーダー的な役割となり、午前は中高合同競技（台風の目・陣地取り・色別(縦割りリレー)を、午後は中高別種目による競技をおこないました。高校では借り人競争・チャンバラ・綱取り・２０人選抜リレーを実施しました。いずれの競技も生徒主体の種目としては「フェアプレー＆グッドマナー」が重視されており、競技の運営・審判・召集誘導など、すべて実行委員会が中心におこないます。中学生との合同競技では、体格差等を配慮した競技種目の選定やルールの策定など、細やかな事前準備も怠りません。将来、黎明生が社会のリーダーとなる資質を養う土台が、このような学校行事を通して形成されていきます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://freimei-h.myswan.ed.jp/

（１１）岩出山高校

〈政宗公まつりへ参加しました！〉

９月８日（日）岩出山地域にて「第６１回政宗公まつり」が開催されました。岩出山高校では毎年、生徒・職員全員で参加しお祭りを盛り上げています。弓道部は少年少女剣士隊に扮し町を練り歩き、その他部活動ごとに竹法螺（たけぼら）演奏や牛鬼（うしおに）を担ぎながら、若い力で観客の皆さんに喜んでもらえるように頑張りました。また給水係として、暑い中まつりに参加している皆さんを潤す係を担うなど、多岐にわたって岩高生の活躍が光った１日でした。

岩出山高等学校は、今後もこのような地域貢献活動を通じて、本校の魅力発信や学校生活の充実を目指していきたいと考えております。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/

（１２）中新田高校

〈地域に活力を！子どもの笑顔があふれる町に　～「地域創造学」の取組〉

加美町唯一の高校である中新田高校は、地域から信頼され、地域に貢献する人材を育成する学校を目指しています。学校設定教科「地域創造学」では、学校を飛び出し、「１００年つづく町づくり」をキーワードに学びを進めています。３年生教養総合類型が学ぶ「地域産業Ⅱ」の授業では、「子どもの笑顔があふれ、町に賑わいを生む」ことを目標に、使われなくなった町の古民家を活用し、子ども連れの家族が楽しむことができる「親子まったりいべんと」を企画しました。初回の１０月５日（土）には、子ども連れの家族がたくさん来場し、本校生徒と一緒に子どもたちはストラックアウト・ボールプール・スノードーム作りなどを楽しんでいました。お母さんたちは、カフェスペースで、生徒たちが作ったケーキやドリンクを楽しみ、ゆったりと過ごしている姿が見られました。子どもたち・お母さんたちからは「とても楽しかった！」「また来ます！」というれしいコメントをいただきました。自分たちの活動が町の賑わいにつながることを実感できた一日となりました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
http://nakani-h.myswan.ed.jp

（１３）加美農業高校

〈交流をとおして育む耕心の心〉

本校は令和５年度、年間１１３回、生徒１人あたり１１回の地域交流に参加しています。他にも、寮生活、韓国の高校生との交流なども本校の特徴のひとつです。

１　寮について

寮では規則正しい共同生活が基本です。寮生活は寮生会という寮生の自治組織でルールを決めたり、各種交流行事の企画・実施を行ったりしています。親元を離れ、同世代の仲間と共同生活ができることや社会への自立に向けた準備ができます。

２　韓国の高校生との交流

本校は韓国の水原(スオン)農生命科学高等学校と平成３年に姉妹校提携を結び、隔年で相互訪問を行っています。今年で３３年目になります。今年度は１０月下旬に３泊４日で訪問し、高校で一緒に授業を受けたり、文化交流や家庭にホームステイをしたりして、多くの発見とともに、交流を深める予定です。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を「活動の様子」で、寮の様子を「耕心寮ブログ」で公開しています。ぜひ御覧ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kamino-h.myswan.ed.jp/

（１４）鹿島台商業高校

〈商業科の取組〉

本校では、積極的に産学連携に取り組んでおり、昨年度から株式会社ウェルファムフーズの国産ブランド鶏肉「森林どり」のＰＲ動画の制作と販売実習を行ってきました。今年は、２年生の「課題研究」で、５月８日（水）に株式会社ダイヤモンドダイニングが経営する鶏料理専門店「鳥福」のＰＲ動画を制作しました。具体的には、森林の日（５月２０日（月））に販売されるオリジナルメニューの撮影や編集を担当しました。実際に試食をしながら、プロの調理の手際の良さやその美味しさを伝えるための工夫を考えながら撮影と編集を行いました。さらに地元企業の㈱花兄園ファームの鶏卵「べにゆたか」のパッケージデザインの制作をしており、みやぎ専門高校魅力発表会や秋の互市で同商品を販売する（予定）など多様な活動に取り組んでいます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/

（１５）登米高校

〈登米小での読み聞かせ活動〉

登米高校では、隣接する登米市立登米小学校の「朝の読書タイム」（８時 15 分～30 分）に合わせて訪問し、大型絵本や紙芝居の読み聞かせをする活動を続けて来ました。

普段の登米高校生は、「朝の読書」が始まる８時３０分までに登校することになっていますが、「読み聞かせ」に参加する生徒は８時過ぎに集合して、小学校に向かいます。早起きしての登校は大変なはずなのですが、小学生との交流が楽しくて、毎年、２回３回と回を重ねて参加する生徒がたくさんいます。図書委員や、ボランティアに興味のある生徒、家庭科「子どもの発達と保育」受講者などの進路を意識する生徒が参加します。

今年度は登米小学校の１年生から２年生までの教室に伺っています。６月から始まって９月までの間に計３回の活動を行うことができました。今年度もほぼ例年どおりの回数を実施できそうです。

年度の前半は昨年度までに経験を積んだ３年生を中心に行います。興味はあるものの自信がなくて躊躇している生徒は、見学会に参加してから、年度後半に読み聞かせを体験しています。

先輩や図書館司書からアドバイスをもらったり、事前に練習を重ねたりして当日を迎えます。過去の記録なども参考に、各学年の児童に合わせた本選びや、話し方などを工夫しています。参加者からは「みんな反応がよく、楽しんでくれているのが伝わってきて、行ってよかったなと思った。」「人物によって声色を変えて話せたのでよかったと思いました。」などの感想が寄せられ、生徒自身も楽しい時間を過ごしているようです。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://tome-h.myswan.ed.jp/

（１６）迫桜高校

ドリカムプラン発表会の様子

〈「産業社会と人間」「ドリカムプラン発表会」〉

「産業社会と人間」は、総合学科の学校設定科目です。通称“産社”と言われ、１年次の前期に週４時間行われます。産社は、生徒一人一人が将来の夢の実現のために「今、必要な力をつける」ことを重視した実践的な学習の時間です。『自分史作成』、『科目選択』、『職業人講話』など、実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、「自分の夢の実現」のために何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、それを自分の力で解決していくことが産社を学ぶ意味でもあります。

前期の最後には、自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。

９月１２日（木）に、その仕上げたプランの発表会が放送により行われました。代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランとの比較を行う姿が見られました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://hakuou.myswan.ed.jp/

（１７）石巻西高校

〈主体的に学び、自らの考えを表現するために〉

本校は、令和４年度より三菱みらい育成財団「心のエンジンを駆動させるプログラム」採択校として、総合的な探究の時間を柱に地域資源や地域人材を積極的に活用した探究的な学びや課題研究に取り組んでいます。

具体的には探究学習を進める準備として行う外部講師による「コミュニケーショントレーニング」「自己理解講座」、若手社会人に生徒たちがインタビューを行う「街ライブラリー」、地域事業所から提示された課題の解決を探究するインターンシップ「街ミッション」、課題探究フィールドワーク「街クエスト」、地域の大人や教職員と自らの探究活動について対話を重ねる「作戦会議」、生徒個々人の興味関心や課題意識に沿って探究を進める「地域課題研究」等を行い、生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を高め、地域・社会貢献意欲等の向上を図り、将来的には石巻地域に貢献できる人材や持続可能な未来社会を創造する人材の育成を目指しています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://inisi.myswan.ed.jp/

（１８）石巻北高校

〈とらまい〉

今回は本校ならではのイベント「とらまい」を紹介いたします。「とらまい」は本校で定期的に開かれている地域の方々向けの販売イベントです。ジャガイモ、トマト、米粉のクリームパンやバターロール、みそ、とまとそーす、塩麹等さまざまな商品があります。店舗は校門を入るとすぐの所にあり、開店時はいつも行列ができます。店を切り盛りするのは、もちろん北高生です。食農系列が実習で商品をつくり、家庭系列がそれを使ったレシピをリーフレットにして提供します。進学系列が広報誌「とらまい通信」を提供し、教養系列が接客を行います。レジは会計のエキスパート経情系列が担います。他にも生徒会が動画で学校を紹介したり、１年次生が交通整理を行ったりしています。それぞれが学びを生かし、全体でも力を合わせて営業しているこの「とらまい」は総合学科ならではの合わせ技と言えるでしょう。今年度で創業 14 年目を向かえ、今やこの地域に根付いたイベントとなっています。

※「とらまい」はこうして名付けられました❗

本校の地元、鹿又地区には地元で古くから親しまれてきた郷土芸能「虎舞」があります。これにあやかって本校のイベントもそう名付けられました。

今年度これからの「とらまいの開店日」は下記の予定となっています。ぜひお越しください❗

令和６年度　交流ひろば販売所“と･ら･ま･い”

・10／2・11／6・11／20・12／4　いずれも水曜日❗

～　　営業時間１６：００～１６：３０　～

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://ishikita.myswan.ed.jp/

（１９）気仙沼高校

〈海を素材としたグローバルリテラシー育成〉

本校は、スーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）ネットワーク校として、「海とまちづくりを軸とした探究活動」と「未来にそなえる防災学習」から、社会を豊かに生きる力を身につける活動を実践しています。生徒たちは、小中高までの縦のつながりで自分の志・夢をつくりあげ、地域・社会・海外との横のつながりから活躍の場を広げています。活動過程では、大学教員等とのディスカッション、地域企業や台湾等でのフィールドワーク、研究成果を伝え合うプレゼンテーション等、本物に触れることで思考力、コミュニケーション力、多様性・協働性・行動力を伸長する機会を数多く経験することができます。

これからも、探究活動と防災学習を中心に生徒の将来の選択肢を増やし、「飛翔の翼　世界へ！」のスローガンのもと、広いグローバル視野を持った地域社会への貢献意欲が溢れる生徒の成長を支えていきます。

自分自身の将来について語り合う研究発表

同世代と関わり異文化に触れる台湾研修

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kesennuma-h.myswan.ed.jp

（２０）本吉響高校

〈「福祉」の学び　～　「デイサービス実習」を通して〉

本校では、平成２８年度より「福祉」を学べるコースを設置し、「介護職員初任者研修」修了認定へ向けて学習を進めており、これまで約１００名の「福祉」を学んだ生徒が社会へ出て活躍しています。本校で「福祉」を学んだ生徒の約８割が学んだことを活かし「福祉」「医療」「保育」の道へと進んでいます。その中の大きな学びの一つに２年次で３日間行われる「デイサービス実習」があります。生徒は自宅から直行直帰の形をとり、校内で学んだことを中心に経験を積ませていただいています。職員の方々も未来の介護職員の卵を親切丁寧に御指導して下さり、生徒達は学校では経験することができない、とても学びの多い充実した３日間を過ごしています。特に利用者の方との対話やふれあいは生徒のこころに残っているようです。令和５年には気仙沼市の高齢化率が４０．８％にまで上昇し、今後益々、介護職員の養成が必要になってきます。本校では「地域福祉」を支える人材を養成すべく日々、学習に力を入れています。貴重な介護実習は、地域の施設の協力があってこそ成し得るもので、今後も一人でも多くの介護人材が地域で貢献できるよう指導に力を入れていきたいと思っています。

〇「福祉」の特色ある取組

・地域の施設での「デイサービス実習」
・障がい者福祉施設職員による「介護ガイダンス」
・市内福祉・医療職による「介護ミーティング」
・介護ロボット・認知症ＶＲ体験

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://hibiki-h.myswan.ed.jp/

（２１）田尻さくら高校

〈さくら高生の世代間交流〉

①「さくらチャレンジ講座 2024」

開校以来続く「さくらチャレンジ講座（科目履修生）」は、今年度、17 講座に 70 名の方が参加し、本校生徒と一緒に授業を受けています。本校生にとっては平均年齢 68.4 歳という科目履修生の方々と、授業を通して自然と交流が生まれることで、他ではなかなか得られない緊張感や安心感を、日常の中で感じることができる貴重な機会となっています。

来年度の募集は、令和７年２月上旬頃、本校 HP や大崎市の広報、田尻支所だより等でお知らせする予定です。

②「絵本の読み聞かせ会」

夏季休業中に本校ボランティア生徒が、すまいる園と沼部小学校児童クラブを訪問し、保育園児や小学生を対象に「絵本の読み聞かせ会」を行いました。喜ぶ園児や児童達の様子を見て、参加した本校生徒も「充実感を得ることができた」と述べていました。

本校は近隣に小・中学校や認定保育園があることから、連携した取組がしやすい環境にあります。ボランティア活動の他にも、外部講師を招き小学生と一緒に行う「するめ天旗づくり」、小・中学生も作品を応募できる「書道展」（本校ギャラリーに展示）など、様々な取組を行っております。行事の様子は本校 HP に掲載しておりますので是非御覧ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://tajiri-hs.myswan.ed.jp

（２２）大河原産業高校

〈専門性ある学科で学ぼう〉

本校は、農業科学科・企画デザイン科・総合ビジネス科の３学科があります。生徒はそれぞれの学科で、目標に向かって日々学校生活を送っています。今回はそんな３学科について簡単に紹介をします。

【農業科学科】

１学年で農業の基礎を広く学び、２学年は野菜・果樹を専攻する食農科学科と森林・緑地を専攻する環境科学科に分かれて専門的な学習をします。食品製造や流通、環境問題などにも取り組みながら他学科とも連携して知識を深め経験を重ねることができる学科です。

【企画デザイン科】

企画デザイン科では、地域活性化や６次産業化を実現する地域デザインを学んでいます。Illustrator や Photoshop をはじめとしたグラフィックデザインのスキルを身に付け、地域産業を知ることで、地域をデザインする手法を学びます。地域企業との商品開発、地域のイベントに参加することで、地域をデザインの力でブランディングしていきます。

【総合ビジネス科】

１年生は簿記や情報処理などのビジネスにおいて必要となる基礎的な知識や技術を身に付けます。２年生からは、流通ビジネス科・情報ビジネス科・会計ビジネス科の３学科に分かれ、各専門分野について深く学びます。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://daisan.myswan.ed.jp/

３　生徒の活躍（活動の成果報告等）

（１）白石工業高校

〈写真部紹介〉

本校写真部の基本的な指導は「嘘をつかない」「悪口を言わない」「約束を守る」「挨拶をする」「写真を撮る」の５つの部訓からくる基本的な生活指導を中心に行っています。

気になる実績ですが、今年度は、三度の全国一位をはじめ県内外の大会で沢山賞状を頂いております。入部して３年間在籍した生徒は何かしらの大会で受賞しています。これは、私が顧問になってから２３年間、全生徒が達成しています。

しかし、努力なしで勝ち得たものではありません。本校写真部は体育会系写真部と言われるくらい活動しています。

初めは賞を取り、人から認められることに喜びを感じている生徒も、しだいに人を喜ばせたい、人を笑顔にさせたいに移行していきます。

特にここ数年の写真甲子園の予選作品は部員一丸となって２か月以上かけて製作します。時間をかけているので非常に面白い作品を製作できています。

汗と努力で製作した作品で予選を突破し、今年度は念願の初優勝を果たすことができました。この文章を読んで興味の出た方は是非一度写真甲子園の HP を御覧ください。

ここまで徒然なるままに書いてきましたが、本校写真部の魅力は実際に体験しないと分からないと思います。

本校に入学して写真部に入りませんか？

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/

（２）工業高校

〈国境を越えた友情の架け橋　～台北市立南港高級工業職業学校との心温まる交流～〉

令和６年５月29日（水）、本校にて台北市立南港高級工業職業学校の皆様（校長先生をはじめ、教員生徒のみなさん23名）をお迎えし、学校間交流を目的とした行事が盛大に開催されました。とても貴重な交流の機会となりました。

各学科の特徴を紹介

生徒間の和やかな交流

歓迎式では、両校の校長先生と生徒代表による挨拶や記念品交換が行われ、台湾の学校からは、記念のクリスタル盾やピンバッジ、台湾産のお菓子やお茶を頂き、本校からはインテリア科製作の木材コースターを手渡しました。その後、台湾の生徒たちは本校の工業科の授業見学や実習に参加しました。各学科を巡る際には、同じ工業を志す者として、技術や知識への興味を共有しながら、和やかなやり取りが見られました。言葉の壁を超えようと、互いに英語を交えながら懸命に意思疎通を図り、笑顔やジェスチャーを通じて、心の距離を縮める姿が印象的でした。合同で昼食を摂りながら、学生同士が交流を深め、文化的な違いを超えて絆を深めました。最後のお別れ会では、記念撮影や温かい言葉の交換があり、別れを惜しむ声が多く聞かれました。

特に、水風船ドロップコンテスト（WBC）では、両校の生徒が混合グループをつくり、水風船を落として割れないようにする挑戦を行いながら、楽しみつつ競い合いました。本校化学工業科が企画・実施したこのイベントは、３階北側ベランダで行われ、生徒たちは慎重に風船を落とし、どのグループが最も優れた結果を出せるかを競いました。創造力よりも運やバランス感覚が試されるこのイベントを通じて、笑顔があふれ、自然と友情が芽生える姿が見られました。

WBC（水風船ドロップコンテスト）の様子

このような国際的な交流を通じて、生徒たちは互いの文化や価値観を理解し合い、大きな成長の機会を得ました。今後もこのような活動を継続し、より多くの生徒が国際的な視野を広げていくことを期待しています。

＜お知らせ＞

１０月２６日(土)９：００～１３：００宮工祭一般公開を開催します。模擬店、吹奏楽・ダンス発表、各部活動・学科の作品展示やＰＴＡバザーなど多彩な企画が楽しめます。御来場をお待ちしております！

昨年の様子（詳細は本校ＨＰを御覧ください。）

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://miyagi-th.myswan.ed.jp/

（３）古川高校

〈中学生１・２年生対象学校説明会〉

今年度の中学生１・２年生対象学校説明会は、９月２７日（金）に開催しました。７月に実施したオープンスクールでは、多くの有志がオープンスクールスタッフとして、生徒主体の運営を行いましたが、今回は生徒会執行部の生徒が中心となって運営を担いました。参加者は中学校２年生が多く、７月のオープンスクールに参加できなかった中学校３年生とその保護者も合わせると合計６０名ほどの参加を頂きました。全体会では生徒会の３名の生徒がスライドを投影するなどしながら、生徒会活動・部活動・学校生活について分かりやすく説明してくれました。

また、昨年度の卒業生からのビデオメッセージも上映したことで、高校生活３年間を俯瞰し、少し先の高校卒業後の進路のことまで見通した説明会を実施することができました。全体会後は、生徒会生徒が案内役として校舎案内を行いました。残念ながら新人大会やコンクールが近いため、校内ではなく他校で練習試合を行っている部活動が多かったので、見学できる部活動は多くありませんでしたが、開会前に上映した文化祭のオープニング動画ではすべての部活動が撮影されており、生き生きと部活動に打ち込む姿も紹介することができました。閉会後には、高校生と直接話ができる座談会を生徒会の発案で急遽行い、近い距離でさまざまな話をすることができたようです。

参加した中学生からは「古高の魅力が良く伝わった。」「分かりやすくて内容がすごく分かり、話も聞きやすかった。」「生徒の協力性や仲の良い学校生活を感じた。」「何事にも全力で取り組める学校だと思いました。」とたいへん好評でした。また、保護者の方からも「我が子を入学させたいと思いました。」という感想も頂きました。次年度もこのような企画を行いますので是非奮って御参加頂きたいと思います。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://furuko.myswan.ed.jp/

（４）小牛田農林高校

〈生徒の活躍〉

県総体壮行式

剣道部の活躍

本校は文武両道を目指し、学習はもとより部活動や課外活動にも力を入れています。部活動においては各種大会での上位進出を目指し、冬の長くて寒い時期にも黙々と練習に取り組み、実力をつけてきました。

その成果が今年も実りました。剣道部は団体競技にて、男子･女子が揃ってインターハイに出場しました。女子個人も出場を果たしました。ソフトボールは地区総体で優勝し、県総体では３位入賞を達成しました。バスケットボール部女子、弓道部男子団体・女子団体が支部総体で優勝し、ソフトテニス部男子は県北・仙北地区新人大会にて優勝しました。相撲部は男子が団体・個人で東北大会に出場、女子は個人の部で全国大会に出場し、ベスト８に入りました。イングリッシュクラブは宮城県商業高等学校英語スピーチコンテスト・レシテーションの部にて優秀賞を受賞、農業クラブは宮城県学校農業クラブ連盟平板測量競技会で優秀賞を受賞し、宮城県学校農業クラブ連盟大会スローガンの部では最優秀賞を受賞しました。吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール地区大会にて金賞を受賞し、宮城県大会では銀賞を獲得しました。文芸部は全国高校生短歌大会に出場し、個人の部で決勝進出を成し遂げました。学習面においては、宮城県高等学校弁論大会にて、本校生徒が最優秀賞を受賞し、全国高等学校総合文化祭・弁論の部に出場しました。

この活躍の背景には、農業技術科の生徒が実習で栽培したお米や野菜、飼育した牛肉・豚肉が彼らの血となり肉となって、その活躍を支えてきたことを見逃すことができません。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kogotanourin.myswan.ed.jp/

（５）石巻工業高校

〈機械部がロボット競技の全国大会に出場します！！〉

本校機械部が１０月から栃木県で開催される全国高等学校ロボット競技大会への出場が決定しました。今回は、生徒会長の日野楓真君（機械科３年・写真右）が、機械部部長の阿部鉄生君（機械科３年・写真左）にインタビューをしてくれました。

日野：全国大会への出場決定おめでとうございます！まずは、機械部がどんな部活なのか教えてください。

阿部：機械部は、エコラン班、ロボコン班、ものづくり班の３つに分かれており、自分の興味のある分野について探求しています。

日野：機械部に入ろうと思ったきっかけは何ですか？

阿部：もともとミニ四駆などが好きで、高校でももものづくりをしていきたいと思ったからです。

日野：部活での最近の悩みは何ですか？

阿部：近年部員が減少傾向にあるため、存続が危ぶまれています。全国大会を通して、多くの人に機械部の魅力を知ってほしいです。

日野：せっかくなので、ぜひ機械部のＰＲをお願いします。

阿部：機械部は男女問わず、また、学科問わず楽しめる部活です。３つのチームがそれぞれの持ち味を生かして活動しています。ロボットとともに青春できる最高の部活です！

日野：ロボット競技大会とは、どのような大会ですか？

阿部：ロボットで様々なアイテムを移動させ、その得点を競います。全国から約１００チームが集まって熱い戦いが繰り広げられます。

日野：全国大会へ向けて意気込みをお願いします。

阿部：まずは予選を突破して、上位入賞を狙います。応援よろしく願いします。

日野：宮城県代表として頑張ってください！応援しています！

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://ishiko.myswan.ed.jp/

（６）角田高校

〈祝！東北大会出場！〉

今年度は陸上競技部と空手道部が東北大会出場を果たしました。

過去にはバドミントン部、弓道部、吹奏楽部（ソロ）なども東北大会出場経験があり、運動部、文化部ともに部活動が盛んな学校です。

陸上競技部

- 東北高等学校陸上競技大会（福島県）
  女子円盤投　第７位／男子円盤投　第１９位
- 東北高等学校新人陸上競技選手権大会（青森県）
  女子円盤投　第３位／女子やり投　第１４位／男子円盤投　第１２位

空手道部

- 東北高等学校空手道選手権大会（秋田県）
  女子個人形　予選ブロック出場／女子団体組手　１回戦敗退

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://kakuko.myswan.ed.jp /

４　入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（１）柴田高校

〈行事の秋　オープンキャンパスの秋〉

８月30日（金）、31日（土）の２日間で、柴田高校の文化祭「柴高祭」を開催しました。今年度は「どっか～ん！やるんで柴高～今、柴高ええ感じやねん～」をテーマに、各クラス・部活動がさまざまな展示やパフォーマンスを披露し、大いに盛り上がりました。御来校いただいた皆様、ありがとうございました。

秋と言えば、スポーツや芸術の秋です。本校では、10月に体育大会、芸術鑑賞会が行われます。体育大会では２日にわたり、運動会種目・球技種目を実施し、スポーツを楽しむことができました。10月23日（水）には芸術鑑賞会を開催しました。今年度は演劇鑑賞です。芸術を身近に感じ、その楽しさを実感したことでしょう。

10月５日（土）には今年度２回目のオープンキャンパスを実施しました。体育科を希望する方を主に、本校の専攻実技種目である６つの部活動を体験いただきました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回、「柴田高校について知りたかったけれど、オープンキャンパスに参加できなかった」という方にお知らせです。11月２日（土）に今年度最後のオープンキャンパスを実施します。普通科・体育科の両科を対象としており、個別相談会も実施します。入試等に関する疑問点や不安などがありましたら遠慮なく御相談ください。

中学生の皆さんの御来校をお待ちしております。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://sibata.myswan.ed.jp/

（2）仙台第三高校

〈仙台三高の紹介と活躍〉

本校は、理数科（2 クラス）と普通科（6 クラス）があり、スーパーサイエンスハイスクール（R4～R8）に指定されています。教科横断型の課題解決型学習（PBL）を通じて、主体的に社会課題を発見し、その解決を目指そうとする探究活動を充実させています。授業ではグループディスカッション、プレゼンテーション、外部発表、論文作成などを実践し、個々の力を伸ばしていきます。また一人一台で PC 端末を活用し、共同作業、データ分析やプログラミングなどの情報活用能力を育成しています。この他、各地域で行うフィールドワークでは、最先端の科学技術や自然に触れることで、科学的な好奇心をさらに高められます。このように、さまざまな活動を通じて、変化の激しいこれからの社会の中で、自らが率先して行動し、活躍できる資質・能力を身に付けていきます。

南三陸フィールドワーク（6月）

つくば研修（8月　JAXA）

白神フィールドワーク（8月）

◎仙台三高の活躍

〇ぎふ総文 2024

ポスター発表　文部科学大臣賞（全国 1 位）自然科学部化学班

化学部門　　文化庁長官賞（全国 2 位）　自然科学部化学班

生物部門（生物班）、地学部門（地学班）も出場

ビデオメッセージ部門　優秀賞（全国3位）　放送部

〇インターハイ

フェンシング、テニス、ソフトテニスで出場

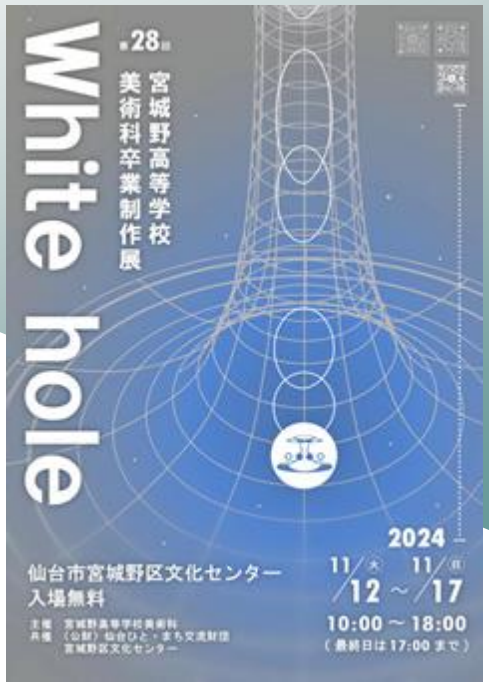
ぎふ総文2024　文部科学大臣賞

次の探究活動発表イベントは 11 月7日（木）のイノベーションフェスタです。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://sensan.myswan.ed.jp/

（３）宮城野高校



〈第 28 回宮城野高等学校美術科卒業制作展〉

美術科に所属する生徒は「美術」という分野の学びに特化し、３年間という短い期間で感性を磨き、知識や技術の向上に取り組んでいます。この卒業制作展はその学びの集大成として毎年 11 月に開催しています。

今年のテーマは「White　hole」です。それは未知なる存在ではありますが物質を放出すると考えられています。今展「White　hole」の会場には私たちの３年間で積み重ねてきた発想、想いそして作品が出現します。お世話になった皆さんへの感謝も込めて準備を進めてきました。ぜひ会場で私たちの作品を御高覧いただければ幸いです。内容は洋画・日本画・彫刻・クラフトデザイン・ビジュアルデザインの５つの専攻から４１名の個性あふれる作品展示を行います。合わせて美術科１・２年次の授業作品も展示します。

この卒業制作展は 11 月 12 日（火）～17 日（日）の間 10:00～18:00（最終日 17:00）まで仙台市宮城野区文化センターで開催します。入場無料です。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://miyagino.myswan.ed.jp/

（４）水産高校

〈12 月 21 日（土）水産高校学校説明会開催〉

水産高校では、令和７年度入学生から３学科での募集を開始します。

新しい学科は、船について専門的に学習をする船舶運航科、海について多面的に学習をする生物環境科、魚や食について専門的な学習をする食品科となります。今までの水産高校での学びをベースに、石巻の海や船、魚を題材にした楽しい学びを展開する予定です。

進路としては、水産・海洋関連産業への就職はもちろん、水産・商船系の大学や食品・栄養系の大学進学、潜水や調理といった専門的な職業等、個性に応じた多様な進路が選択できます。

取得できる資格も各学科で異なりますので、新しくなる水産高校のお話しをぜひ聞きにきてください。また、個別相談会や部活動紹介も同時開催します。11 月 11 日（月）から受付を開始しますので、学校ホームページで御確認ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://miyagisuisan.myswan.ed.jp/

（５）第二工業高校

〈電気科「特別編入制度」について〉

本校電気科は電気主任技術者の認定校になっており、卒業後に所要の実務経験により第三種電気主任技術者（いわゆる「電験三種」）の資格を取得できます。

さらに、本校の特色として「電気科特別編入制度」があります。これは高校を既に卒業した方を対象とした編入学制度で、電気科の３年次に編入して電気関係の科目を２年間（３、４年次）学び、電気主任技術者や電気工事士などの資格取得を目指すことができる制度です。

編入学の理由としては、「勤務している会社の業務で資格が必要になった」「知識や技能を改めて身に付ける必要がある」「家業を継ぐことになり資格が必要になった」など様々なものがありますが、編入生はそれぞれの目標に向かって日常の勤務と並行しながら日々しっかりと学業に取り組んでいます。

一般の生徒と一緒に受ける授業や実習もあり、特別活動や学校行事にも楽しく積極的に参加しています。目標に向かって熱心に勉学に励む編入生の姿は、ともに学ぶ一般生徒の良きお手本になっています。

令和７年度の特別編入試験は令和７年３月１７日（月）に実施しますが、事前の資格審査を必要とするため２月６日（木）までに必ず本校に問い合わせをしてください。

なお、特別編入試験に関する詳細は学校ホームページを御覧ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉
https://m2k.myswan.ed.jp/

（６）美田園高校

〈学校説明会（令和７年１月１２日（日）開催予定）の御案内〉

令和７年度一期入学に向けた学校説明会を下記のとおり実施します。

通信制の学習の進め方は、全日制・定時制とは全く異なります。

進路の選択肢のひとつとして美田園高校を考えていらっしゃる方は、ぜひとも学校説明会に参加していただき、その通信制の学習の進め方等を理解してください。

開催日：　令和７年１月１２日（日）

対　象：　本校への入学を希望している方と保護者の皆様、及び中学校・高校の先生方

会　場：　まなウェルみやぎ　３階　大研修室

諸連絡：　〇事前の申し込みが必要です。

詳細は本校ＨＰを御覧ください。掲載は１１月上旬頃を予定しています。

〇駐車場は利用できませんので、来校の際には公共交通機関を御利用ください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

https://mitazono.myswan.ed.jp/